



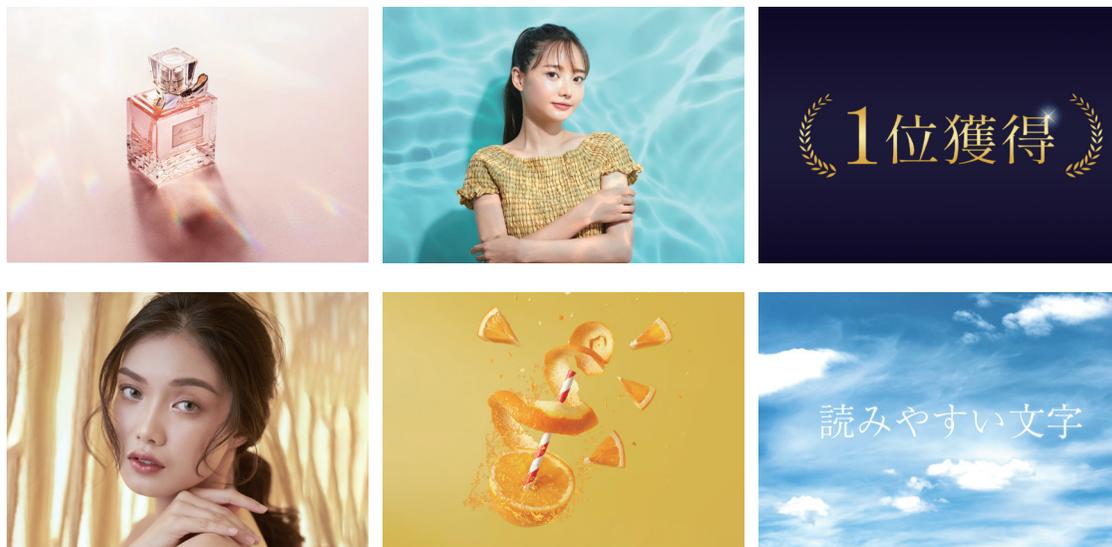
はじめに

数ある書籍の中から本書を手にとっていただき、ありがとうございます。

本書では、「ほんの一手間でプロっぽくなる」というコンセプトのもと、PhotoshopとIllustratorを活用してWebサイトやバナー、グラフィックデザインを作成する際のレタッチや文字デザイン、あしらひデザイン等の技法を、具体的な手順を踏まえて解説しています。

デザインでは、わずかな手間を加えることで、仕上がりが飛躍的に上がることが多くあります。本書では、その一手間を見つけ、活用するための方法を詳細に解説していきます。

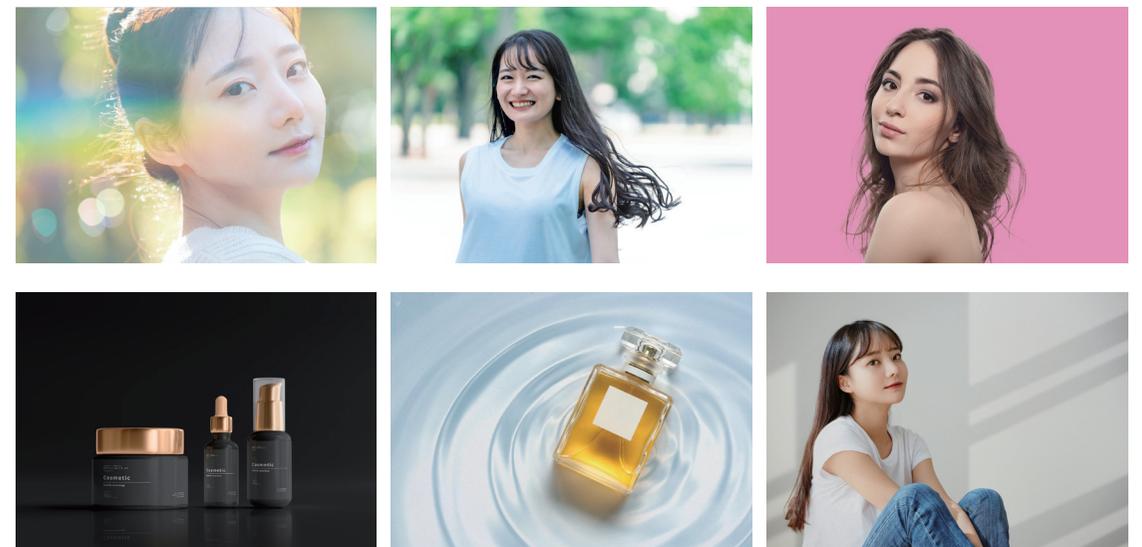
また、アイデアや知識を伝えるだけでなく、PhotoshopとIllustratorを使ったデザインの基礎から応用技法までを、初心者から中級者まで、幅広い読者の方々に役立つ実践的な技術に落とし込み、解説しています。



はじめての方にもわかりやすく解説するため、本編では具体的な手順やスクリーンショットを活用し、ステップバイステップでの作業方法を詳細に説明しています。さらに、実際のデザイン例を交えながら、プロのデザイナーがどのようなアプローチでデザインを考え、作成するのかについても紹介しています。

デジタル時代の到来により、私たちは日常的にさまざまなデジタルメディアに触れる機会が増えました。Webサイトやソーシャルメディア上で目にするクオリティの高いデザインに触れるたびに、「こんな素敵なデザインを自分でも作りたい!」「自分にはデザインのセンスがないのかもしれない」と考えてしまうこともあるかもしれません。しかし、デザインの才能やセンスは必ずしも先天的なものではなく、後天的に磨いていけるものだと私は信じています。

今の自分がベストとは言えませんが、私も駆け出しの頃はセンスも技術もまったくない状態でした。そんな経験から生まれた本書は、後天的にスキルを磨いていきたい方におすすめしたい書籍なのです。



CONTENTS

はじめに P.002

本書の使い方 P.012

Chapter 1

ほんの一手間で「色調補正」の小ワザ

P.016



01 夏の爽やかな
雰囲気を出す

P.018



02 夜景をドラマチック
に表現する

P.020



03 レトロで懐かしい
空気感を出す

P.022



04 画像の特定の
色味を抜く

P.024



05 青空や海を
魅力的に表現する

P.026



06 夕日を印象的に
表現する

P.028



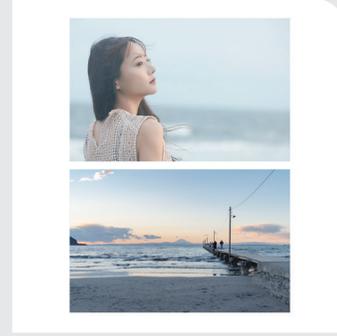
07 落ち着いた格調
高い雰囲気を出す

P.030



08 ふんわり優しい
春の雰囲気を出す

P.032



09 複数の画像の
色味を合わせる

Chapter 2

ほんの一手間で「人物レタッチ・合成」の小ワザ

P.036



10 肌にパール感を出す

P.040



11 肌のしわやできもの
を消す

P.044



12 唇に艶を出す

P.054



16 服のしわを消す

P.056



17 髪の毛の毛先まできれいに切り抜く

P.060



18 レンズフレアを合成する

P.064



19 花びらをぼかして合成する

P.066



20 水面の波を合成する

P.070



21 影を合成する

Chapter 3

ほんの一手間で「商品レタッチ・合成」の小ワザ

P.074



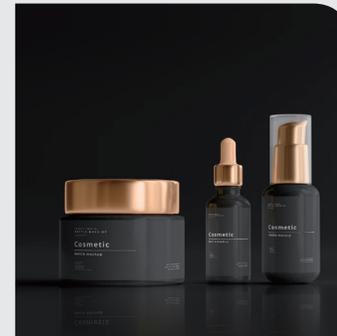
22 商品の見栄えを整える

P.076



23 商品を滑らかに切り抜く

P.078



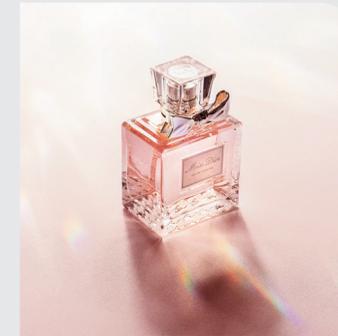
24 鏡面反射を取り入れる

P.080



25 透明感のある影をつける

P.084



26 屈折光を合成する

P.086



27 波紋を合成する

P.088



28 テクスチャを合成する

P.092



29 粘度の高い雫を合成する

P.096



30 水滴を合成する

Chapter 4

ほんの一手間で「文字デザイン」の小ワザ
プロっぽくなる

P.102



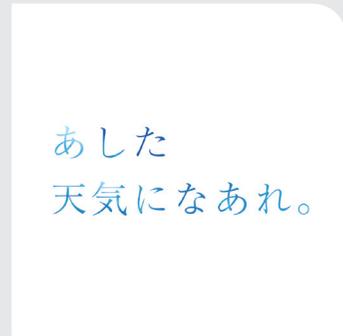
31 権威性を感じさせる
金文字

P.106



32 潤いを感じさせる
文字

P.108



33 美しいグラデーショ
ン文字

P.110



34 立体感のある文字

P.112



35 飛び出す文字

P.116



36 遠近感のある文字

P.118



37 アメコミ風文字

P.122



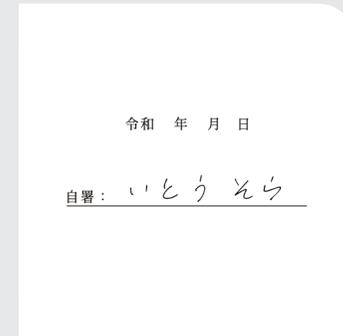
38 カリグラフィー風
文字

P.124



39 スピード感のある
文字

P.126



40 手書き文字の
取り込み

P.128



41 視認性を高める
文字デザイン

Chapter 5

ほんの一手間で「あしらいデザイン」の小ワザ
プロっぽくなる

P.132



42 水滴のあしらい

P.136



43 潤いのあしらい

P.140



44 真珠のあしらい

P.142



45 シャボン玉のあしらい

P.146



46 美容成分のあしらい

P.148



47 フレア輪郭の
あしらい

P.150



48 ダイヤのあしらい

P.154



49 メダルのあしらい

P.158



50 盾のあしらい

P.176



57 和風のあしらい

P.180



58 円グラフのあしらい

P.182



59 スタンプ風加工のあしらい

P.160



51 月桂冠のあしらい

P.162



52 さくらの花のあしらい

P.166



53 水彩画のあしらい

P.184



60 動物のあしらい

P.170



54 氷のあしらい

P.172



55 太陽線のあしらい

P.174



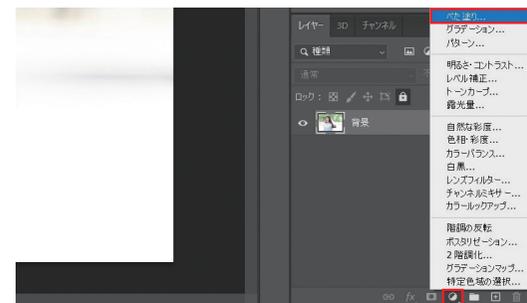
56 暖色グラデーションのあしらい

付録

Photoshop & Illustratorのきほん P.189

くわしい作り方

1 ベタ塗りレイヤーを追加



Photoshopで画像を開きます。調整レイヤーアイコンをクリックし、「べた塗り」を選択します。

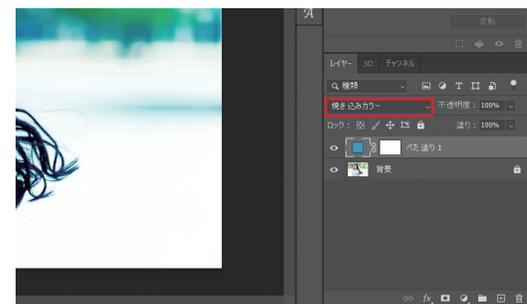
2 ベた塗りレイヤーの色味を指定



カラーピッカーで、べた塗りの色を「#3fa1ce」に設定します。

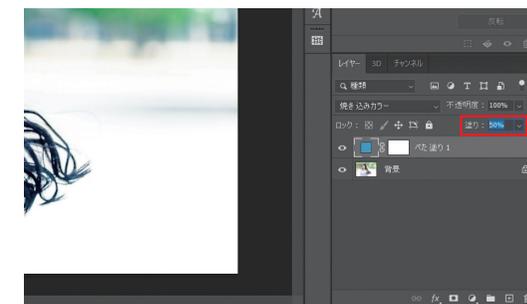
≫ Memo 今回は夏の涼気な雰囲気表現したかったので青を選択しました。

3 「焼き込みカラー」を選択



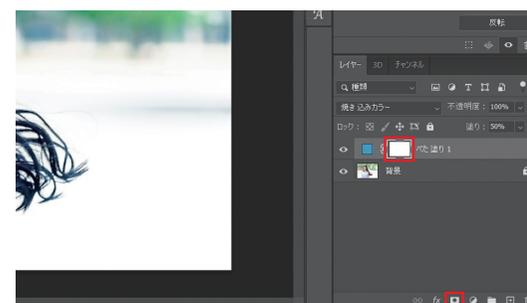
描画モードを「焼き込みカラー」に変更します。

4 塗りを50%に調整



べた塗りレイヤーを選択し、塗りを「50%」に変更します。

5 レイヤーマスクを選択



べた塗りレイヤーのレイヤーマスクをクリックします。レイヤーマスクが選択されると、サムネイルの四隅に括弧が表示されます。

6 濃くなりすぎた部分を微調整して完成



髪の毛など、色味が濃くなりすぎた部分をカラー「黒」、不透明度「30%」のソフトブラシで少しずつドラッグします。自然な色味になれば完成です。

01 描画モード「焼き込みカラー」でできる
夏の爽やかな雰囲気を出す

爽やかさを出す色調補正は、フレッシュな印象や夏の涼しさを表現する際に便利な表現技法です。採用サイトや、夏の広告などで使用されることが多いです。



Before



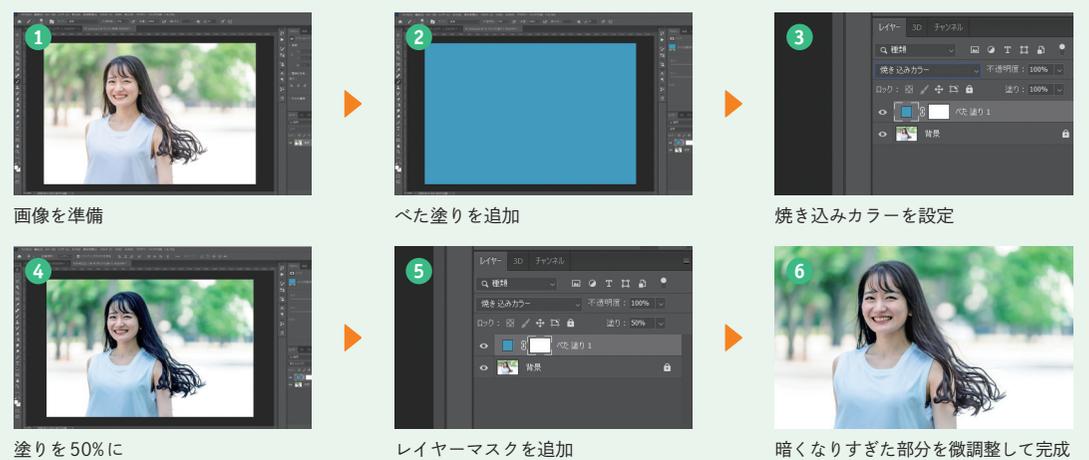
After



Point

焼き込みカラーは、重ねる色味によって印象が大きく変化します。複数の色を試し、使用する画像にあった色味を採用しましょう。

作り方

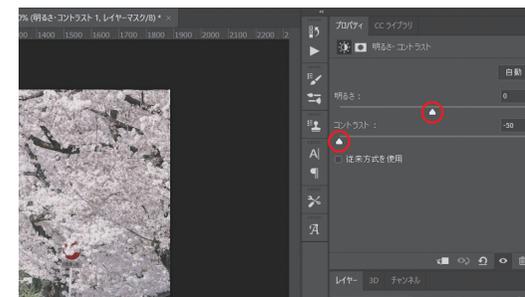


ここで利用した画像 ▶ フォトAC : <https://bit.ly/3Y9nhAt>
画像ID : 24297041



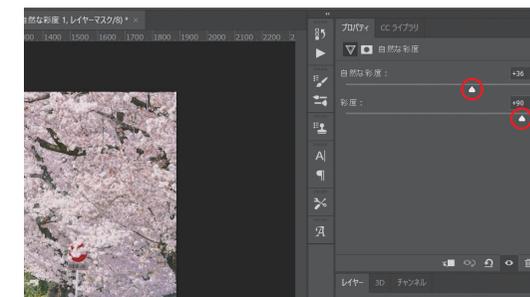
くわしい作り方

1 コントラストを下げる



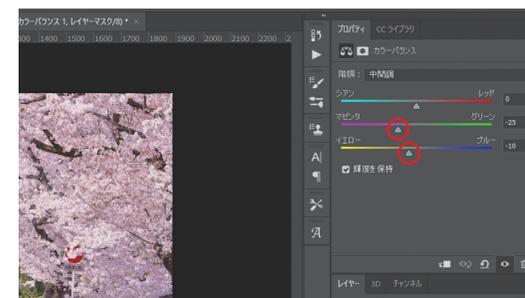
Photoshopで画像を開きます。調整レイヤーアイコンをクリックし、「明暗・コントラスト」を選択します。明るさを「0」、コントラストを「-50」に設定します。

2 自然な彩度で彩度を上げる



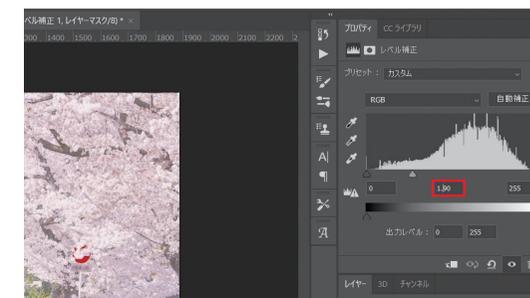
調整レイヤーアイコンをクリックし、「自然な彩度」を選択します。自然な彩度を「+36」、彩度を「+90」に設定します。

3 カラーバランスでピンク寄りに調整



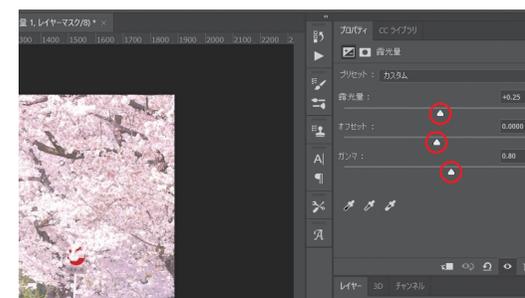
調整レイヤーアイコンをクリックし、「カラーバランス」を選択します。マゼンタ～グリーンを「-25」、イエロー～ブルーを「-10」に設定します。

4 レベル補正で明るさを上げる



調整レイヤーアイコンをクリックし、「レベル補正」を選択します。中間調を「1.90」に設定します。これで、柔らかい印象になります。

5 露光量でメリハリをつける



調整レイヤーアイコンをクリックし、「露光量」を選択します。露光量を「+0.25」、ガンマを「0.80」に設定します。

6 レイヤーマスクで色が濃すぎる部分を消して完成



「自然な彩度」レイヤーのレイヤーマスクサムネイルをクリックします。色が濃すぎる部分をカラー「黒」、不透明度「50%」のソフトブラシでドラッグして完成です。

08 レベル補正でできる 〆 ふんわり優しい春の雰囲気を出す

季節感を表現するには、画像全体を季節を想起する色味に調整するのが効果的です。春の場合は、ピンクや水色のパステルカラーで色味を整えると、春らしさを表現できます。



Before



After



Point

春の色味のポイントは、淡い色味のパステルカラーです。彩度を上げすぎると色味がきつくなりすぎ、春らしさが伝わりにくくなるので注意しましょう。

作り方



1 画像を準備



2 コントラストを下げる



3 自然な彩度で彩度を上げる



4 カラーバランスで色味を調整



5 レベル補正で色味を淡くする



6 露光量で全体を引き締め完成



09 描画モード「ソフトライト」でできる 複数の画像の色味を合わせる

複数画像の色味を合わせる技法は、Webデザインやバナーデザインなどによく使用されます。色味を合わせることで、全体の統一感を出したり、印象に残りやすくする効果が期待できます。



Before



After



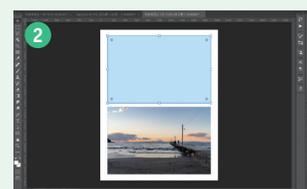
Point

今回は、上の画像がグリーン寄りの色味、下の画像がブルー寄りの色味になっています。これらの色味を「ソフトライト」で統一します。

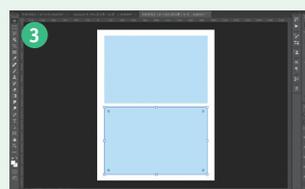
作り方



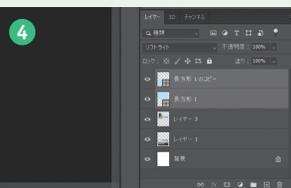
1 画像を準備



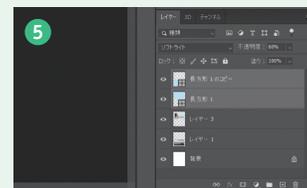
2 人物に長方形レイヤーを重ねる



3 風景に長方形レイヤーを重ねる



4 描画モードをソフトライトに



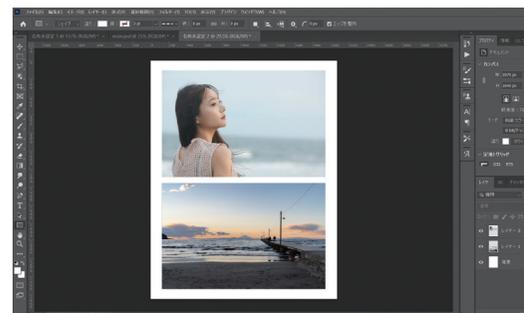
5 長方形レイヤーの不透明度を60%に



6 色味を微調整して完成

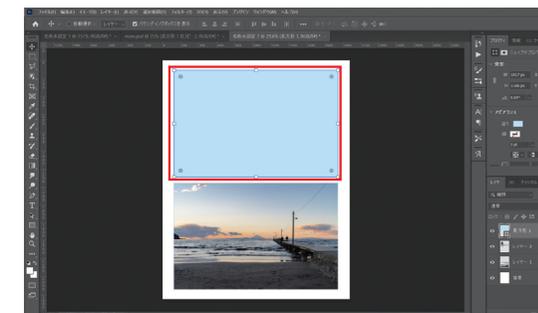
くわしい作り方

1 画像を準備



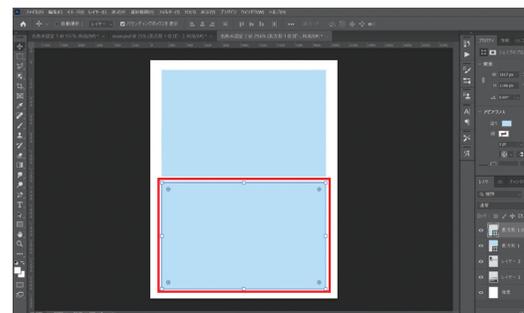
色味を統一する画像をPhotoshopで開きます。

2 長方形を追加



長方形ツールを選択し、上の画像と同じ大きさの長方形を作成します。色は#c8e8ffに設定します。

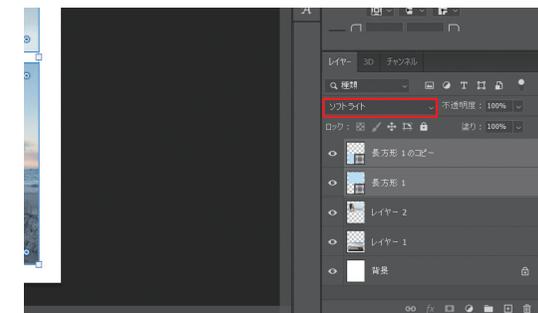
3 長方形を複製



②で作成した長方形を[Alt]/[option]キーを押しながら下にドラッグして複製し、下の画像と重ねます。

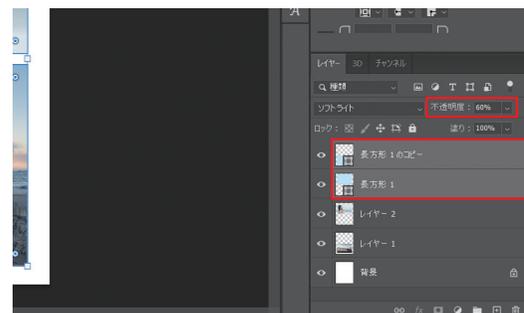
» Memo 画像ごとに長方形を作成することで、個々の微調整がしやすくなります。

4 「ソフトライト」に変更



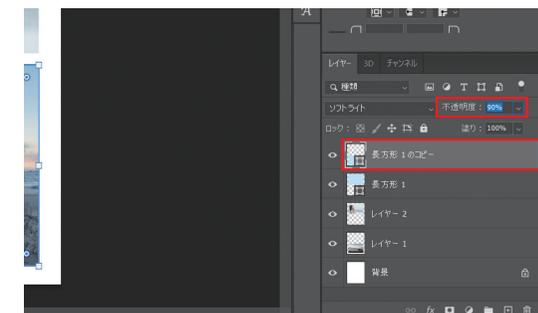
2つの長方形を選択し、描画モードを「ソフトライト」に変更します。

5 不透明度を60%に



2つの長方形レイヤーの不透明度を、60%まで下げます。

6 微調整して完成



風景画と人物画の色味をもう少し近づけるため、風景の長方形レイヤーの不透明度を90%まで上げて完成。

ここで利用した画像 iStock : <https://bit.ly/3Vp8vWz>
画像ID : 1408412072

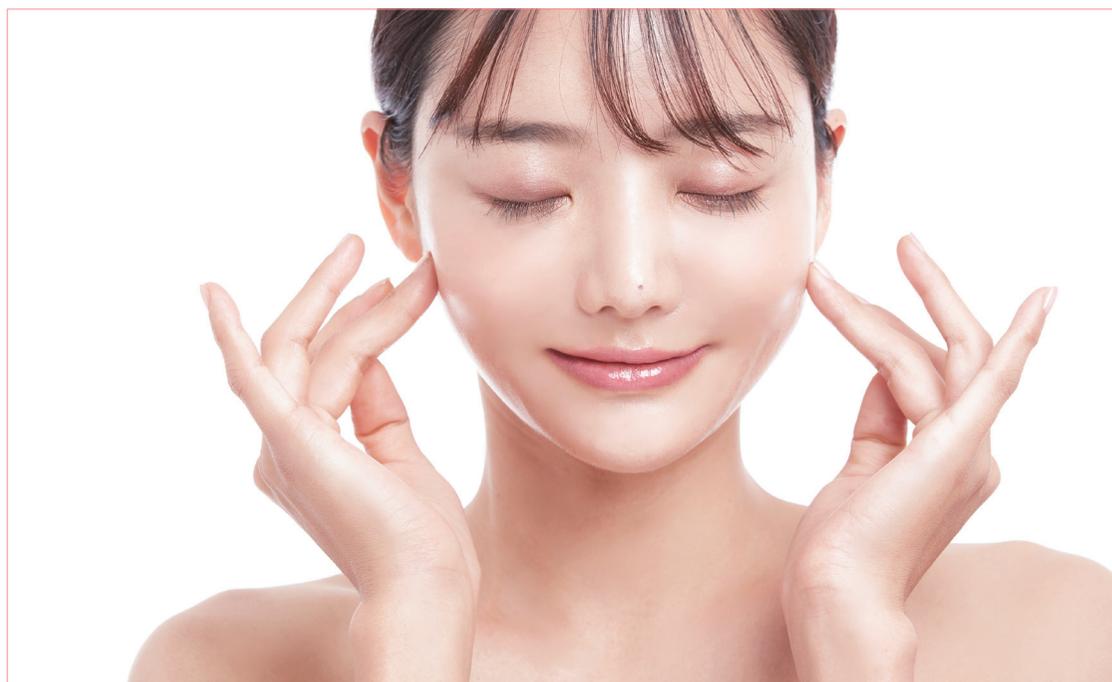


iStock : <https://bit.ly/44hRP7B>
画像ID : 1471869577



10 トーンカーブでできる 肌パール感を出す

肌のパール感を出す技法は、肌の潤いやすっぴん肌的美しさを表現する際に効果的です。化粧品など、美容用品の広告でよく使われています。



Before



After



Point

パール感を出すには、照明によってできるテカりを強調する必要があります。しかし、テカりを強調しすぎるとオイリー肌に見えることもあるので、やりすぎには注意が必要です。

作り方



画像を準備



トーンカーブで全体を明るくする



トーンカーブの範囲を指定



レイヤーマスクで全体を隠す



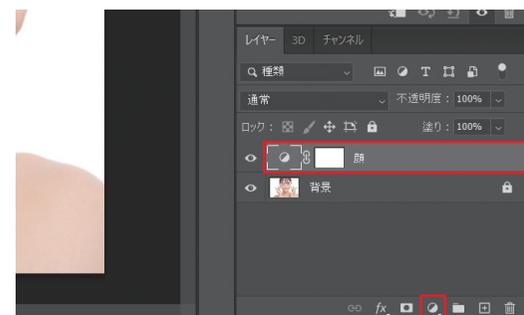
レイヤーマスクでテカリ部分をなぞる



全体の色味を調整して完成

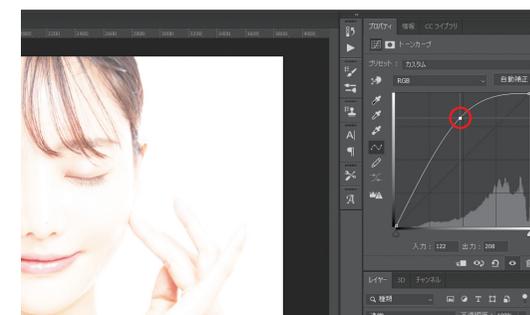
くわしい作り方

1 トーンカーブレイヤーを追加



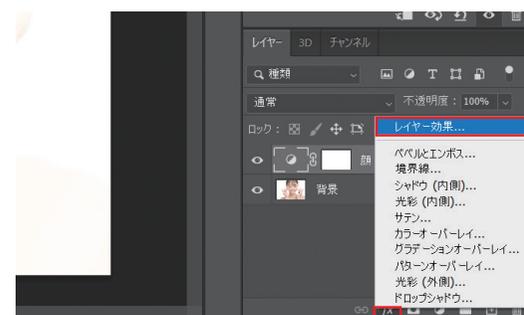
Photoshopで画像を開きます。調整レイヤーアイコンをクリックし、「トーンカーブ」を選択します。追加されたレイヤーの名前を「顔」に変更します。

2 トーンカーブで全体を明るくする



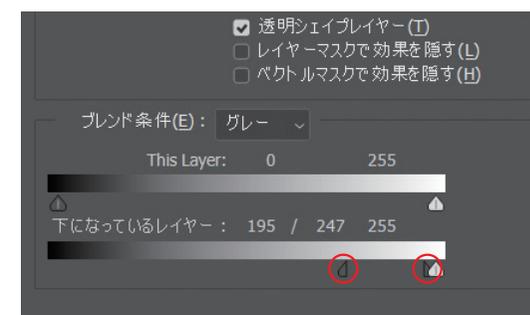
トーンカーブの中央部分を上に持ち上げ、画像全体を明るくします。

3 レイヤー効果を選択



レイヤースタイルを追加アイコンをクリックし、「レイヤー効果」を選択します。

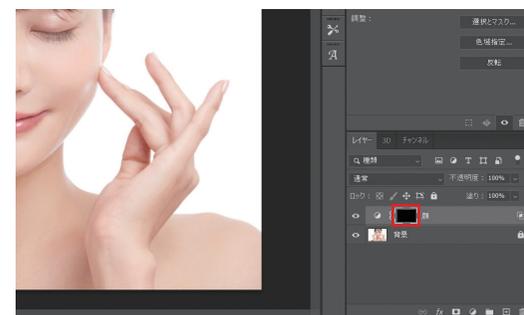
4 トーンカーブの適用範囲を指定



「下になっているレイヤー」の黒いつまみを右にドラッグし、てからせる範囲を指定します。

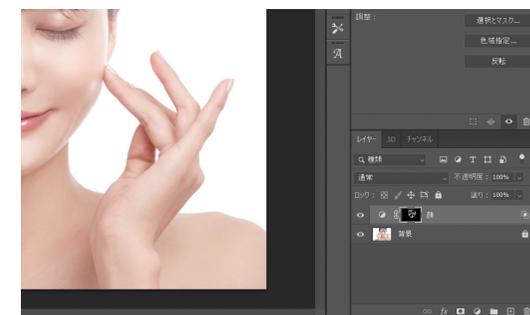
» Memo [Alt]/[Option] キーを押しながらドラッグすると、明るい部分と暗い部分の境界線を滑らかにできます。

5 レイヤーマスクを黒で塗りつぶす



レイヤーマスクサムネイルをクリックし、塗りつぶしツールでトーンカーブレイヤーを黒に塗りつぶします。トーンカーブの適用が、いったん外れます。

6 肌の明るくしたい部分をなぞりパール感を出す



不透明度「50%」、カラー「白」のソフトブラシで、ほほやおでこ、鼻筋、唇などテカリを出したい部分をドラッグし、顔のパール感を表現します。

18 描画モード「スクリーン」でできる レンズフレアを合成する

写真に華やかさを付けたいときは、レンズフレアの合成が効果的です。レンズフレアの合成は、日焼け止めやエステなど、女性を対象としたデザインに使われることが多いです。



Before



After



Point

レンズフレアを合成する際は、どの方向に光源があるのかを意識するようにしましょう。

作り方



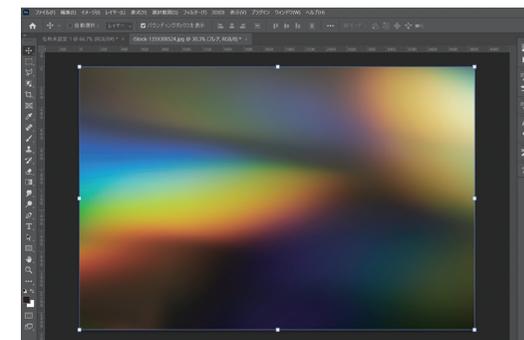
くわしい作り方

1 画像を準備



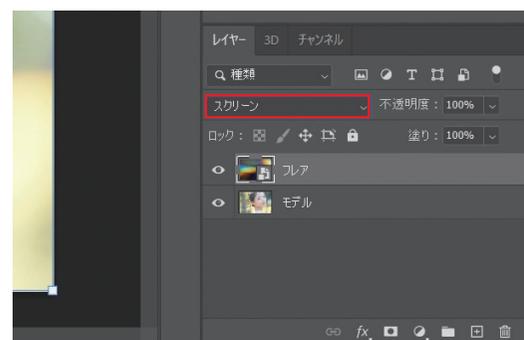
Photoshopで画像を開き、レイヤー名を「モデル」に変更します。

2 合成画像を開く



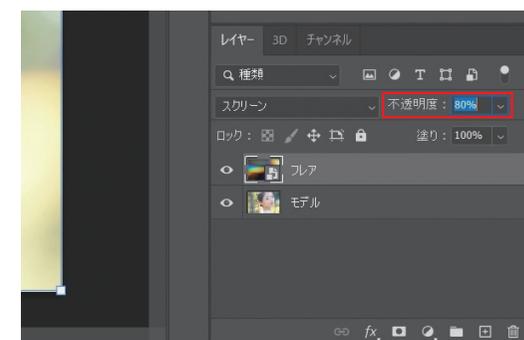
フレア画像を読み込んで、モデルレイヤーの上に配置します。レイヤー名を「フレア」に変更します。

3 描画モードを「スクリーン」に



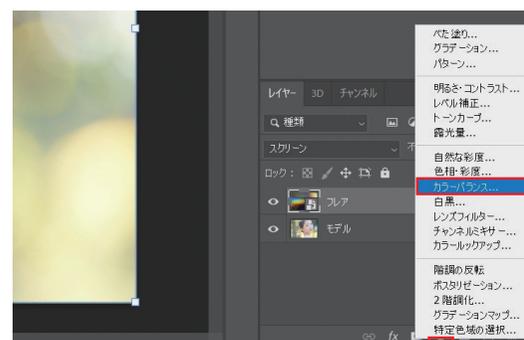
フレアレイヤーを選択した状態で、描画モードを「スクリーン」に変更します。

4 不透明度を80%に調整



不透明度を「80%」に変更します。

5 「カラーバランス」を選択



調整レイヤーアイコンをクリックし、「カラーバランス」を選択します。

6 色味を微修正して完成



シアン〜レッドを「-27」に設定し、色味を寒色にすれば完成です。色味は、用途に応じて調整します。

ここで利用した画像

iStock : <http://bit.ly/3Hf6jdD>
画像ID : 1359308524



Unsplash : <http://bit.ly/3HkVFCp>



20 水面の波を合成する

描画モード「乗算」でできる

水面の波を合成する技法は、夏を想起させるデザインや潤いを訴求したい製品に利用すると効果的です。化粧品などを取り扱う広告デザインに使用されることが多いです。



Before



After



Point

水面が反射する際は、強い光源が必要になります。モデルの画像に濃い影がないと違和感が出やすいので、注意が必要です。

作り方



1 画像を準備



2 露光量で全体を明るく



3 水面画像を重ね描画モードを乗算へ



4 レイヤーマスクで被写体と重なった部分を少し薄める



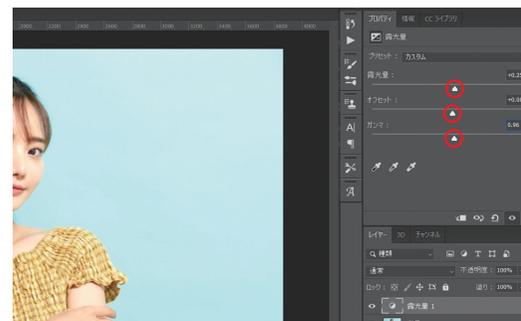
5 水面の色味と明るさを調整



6 モデルの色味を水面となじませて完成

くわしい作り方

1 露光量を調整



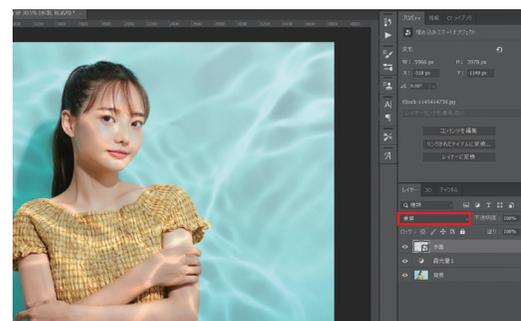
Photoshopで画像を開きます。調整レイヤーアイコンをクリックし、「露光量」を選択します。露光量を「+0.25」、オフセットを「0.0037」、ガンマを「0.96」に設定します。

2 水面の画像を重ねる



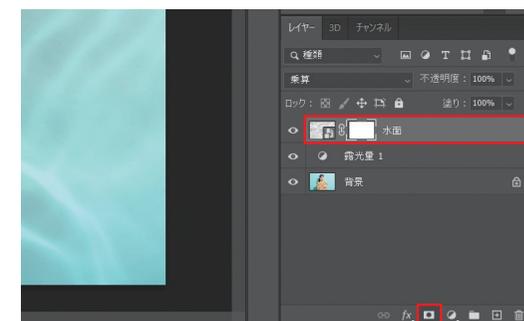
水面の画像を読み込み、レイヤー名を「水面」に変更します。

3 描画モードを「乗算」に変更



水面レイヤーを選択した状態で、描画モードを「乗算」に変更します。

4 レイヤーマスクを追加



レイヤーマスクを追加アイコンをクリックし、水面レイヤーにレイヤーマスクを追加します。

5 モデルの選択範囲を作成



モデルのレイヤーを選択し、オブジェクト選択ツールでモデルの選択範囲を作成します。

6 被写体と水面が重なっている部分を薄くする



水面レイヤーのレイヤーマスクを選択し、カラーを「黒」、不透明度を「40%」に設定したソフトブラシで被写体と水面が重なっている部分をドラッグし、水面の色を薄くしていきます。

24」オブジェクトの複製でできる 鏡面反射を取り入れる

「鏡面反射」は、美容用品や精密機械、車などのデザインでよく使われる技法です。鏡面反射を取り入れることで、高級感を表現することができます。



Before



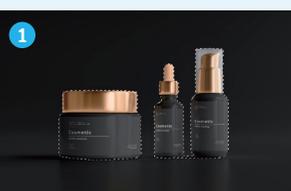
After



Point

鏡面反射を表現する際は、不透明度を落とすだけではなく、オブジェクトを半分ほどグラデーションで消すとよりリアルに見えます。

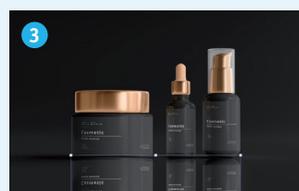
作り方



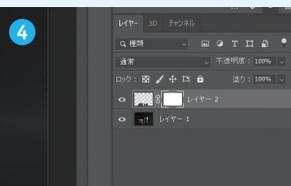
1 選択範囲を作成



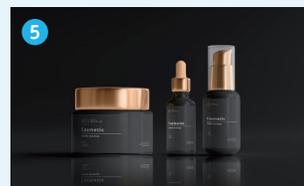
2 オブジェクトを複製する



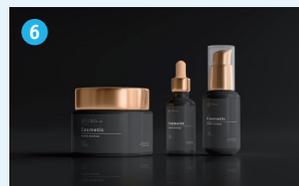
3 複製オブジェクトの上下を反転させる



4 レイヤーマスクを追加



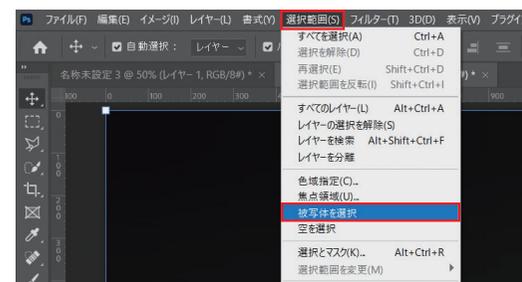
5 グラデーションツールで半分透明に



6 不透明度を40%に調整して完成

くわしい作り方

1 選択範囲を作成する



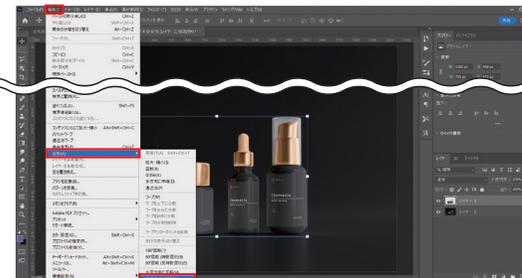
Photoshopで画像を開きます。「選択範囲」→「被写体を選択」を選択し、オブジェクトの選択範囲を作成します。

2 オブジェクトを複製する



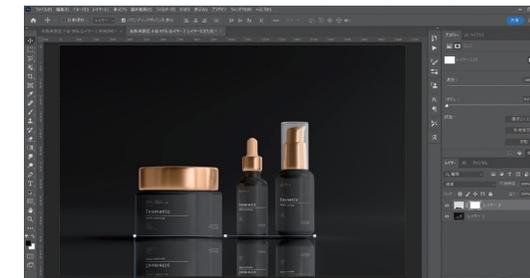
Ctrl / **command** + **C** → **Ctrl** / **command** + **V** キーを押して、選択範囲内のオブジェクトを複製します。

3 複製オブジェクトを反転させて配置する



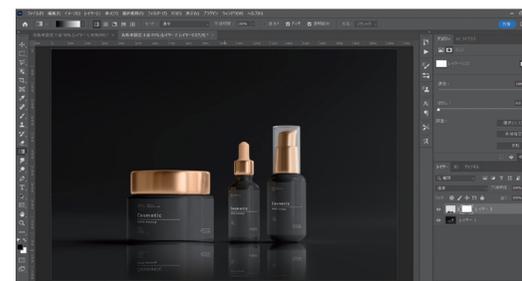
複製したオブジェクトを選択した状態で「編集」→「変形」→「垂直方向に反転」を選択し、上下を反転させます。

4 レイヤーマスクを追加



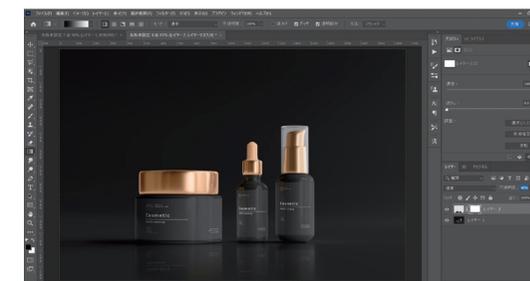
Shift キーを押しながら垂直下方向にドラッグし、商品ときれいに重なるように移動させます。複製レイヤーを選択し、レイヤーマスクを追加アイコンをクリックし、レイヤーマスクを追加します。

5 映り込み部分を半分消す



リアルな映り込みを表現するため、レイヤーマスクを選択した状態でグラデーションツールを選択します。グラデーションは白と黒を選択し、複製オブジェクトの下側をグラデーション状に消します。

6 不透明度を調整して完成



複製レイヤーを選択し、不透明度を「40%」に調整すれば完成です。

» Memo 不透明度が高いほど鏡のような質感に、低いほどマットな質感になります。

ここで利用した画像 Unsplash : <http://bit.ly/3Xme5sm>



25」透明感のある影をつける

オブジェクトの複製+ぼかしでできる

透明感のある影の合成は、ガラスやボトルといった内容物が透けて見える被写体に使うと効果的です。影はドロップシャドウではなく、被写体を複製してぼかすことでより魅力的に見せることができます。



Before



After



Point

商品を少し斜めに配置することで、影の合成が自然になり、動きのある表現になります。

作り方



1 被写体の選択範囲を作成



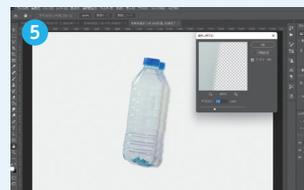
2 レイヤーマスクで被写体を切り抜き



3 被写体を傾け背景を作成



4 被写体を複製し影になるように配置



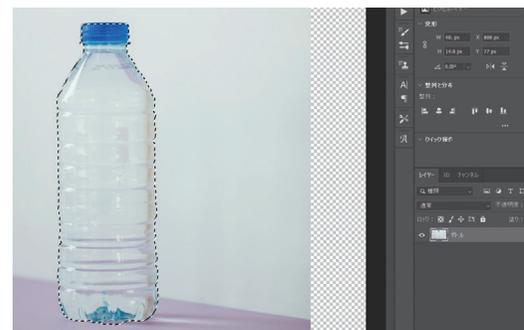
5 影をぼかす



6 色調補正して完成

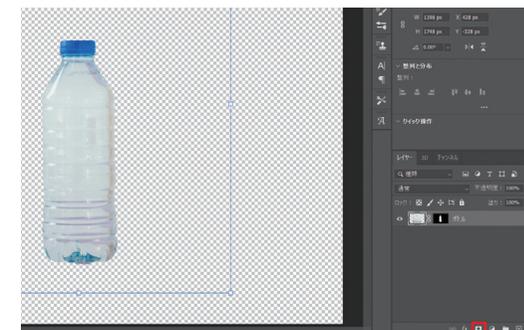
くわしい作り方

1 被写体の選択範囲を作成



Photoshopで商品画像を開き、レイヤー名を「ボトル」に変更します。オブジェクト選択ツールで、選択範囲を作成します。

2 レイヤーマスクで被写体を切り抜く



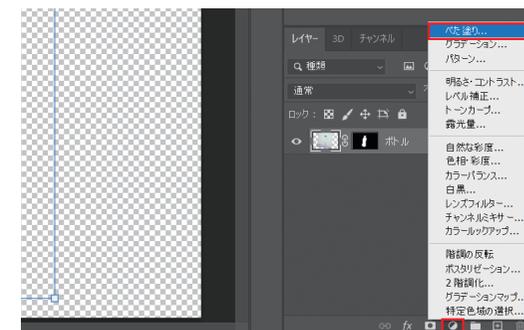
レイヤーマスクを追加アイコンをクリックし、レイヤーマスクを追加します。被写体が切り抜かれます。

3 被写体を少し傾かせる



「編集」→「変形」→「回転」の順に選択し、被写体を右に「8度」ほど傾けます。少し傾けることで、自然な影をつけやすくなります。

4 べた塗りを選択



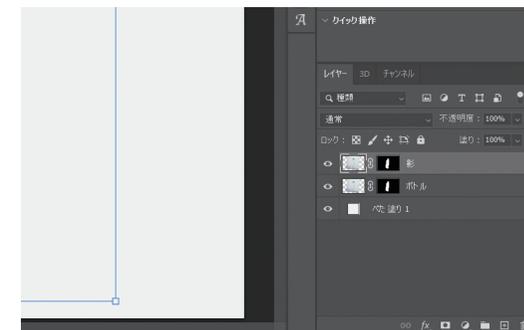
調整レイヤーアイコンをクリックし、「べた塗り」を選択します。

5 べた塗りレイヤーで背景を作成



べた塗りレイヤーの色を「#f4f5f5」に設定します。べた塗りレイヤーの重ね順を、一番下に移動します。

6 被写体を複製



ボトルレイヤーを選択し、**[Ctrl]/[command] + [C]**→**[Ctrl]/[command] + [V]**キーでレイヤーを複製します。複製したレイヤーの名前を、「影」に変更します。

29 有効な美容成分を表現する

粘度の高い雫を合成する

粘度の高い雫の合成は、美容パックや美容液などの美容商品のデザインに使われることがあります。商品に美容成分が多く含まれていることを想起させたい場合に効果的です。



Before



After



Point

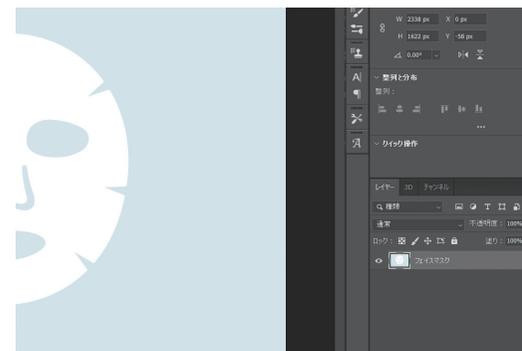
滴る水滴は、1つではなく複数にすると商品から美容成分が溢れ出しているようなイメージを想起させやすくなります。

作り方



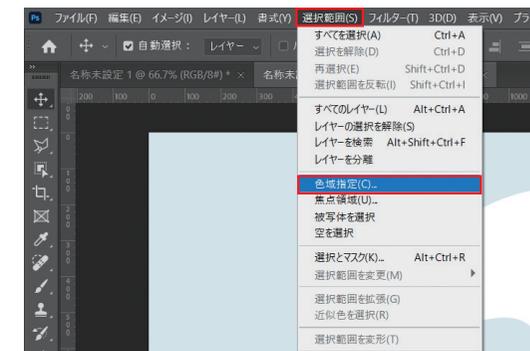
くわしい作り方

1 レイヤー名を変更



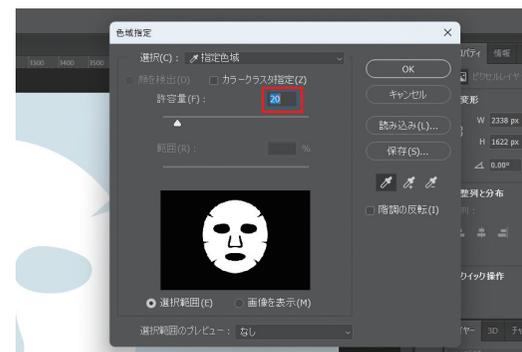
Photoshopでフェイスマスクの画像を開き、レイヤー名を「フェイスマスク」に変更します。

2 色域指定を選択



フェイスマスクレイヤーを選択し、「選択範囲」→「色域指定」の順に選択します。

3 フェイスマスクの選択範囲を作成



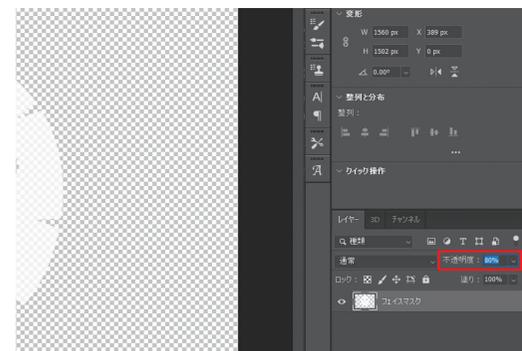
フェイスマスク画像の白い部分をクリックし、許容量を「20」に設定して「OK」をクリックします。フェイスマスクの選択範囲が作成されます。

4 フェイスマスクを切り抜く



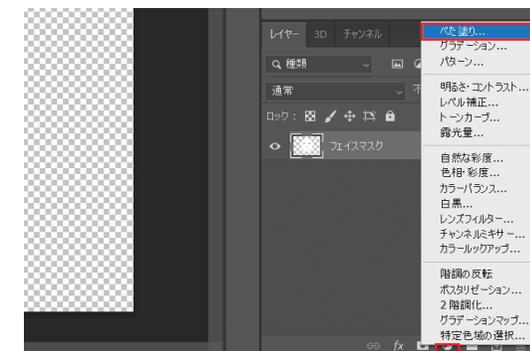
Ctrl / **command** + **C** → **Ctrl** / **command** + **V** キーを押し、フェイスマスクを切り抜きます。不要になったフェイスマスクの画像は非表示にするか削除します。

5 不透明度を80%に調整



切り抜いたフェイスマスクレイヤーを選択し、不透明度を「80%」に調整します。

6 べた塗りをを選択



調整レイヤーアイコンをクリックし、「べた塗り」を選択します。

31 「グラデーションオーバーレイ」でできる 権威性を感じさせる金文字

金文字は、受賞や権威性のある商品を訴求するときに効果的です。左右に月桂冠をあしらうことで、より権威的なイメージを演出することができます。



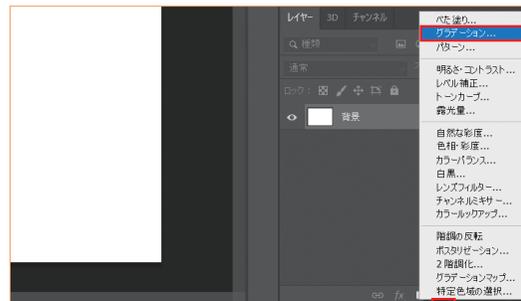
Point
アイキャッチとしてレンズフレアを一緒にあしらうと、ユーザーの視線を誘導しやすくなります。あしらう際は、文字の端にそっと配置すると自然に見えます。

作り方

- 紺背景に文字を入力
- 月桂冠をあしらう
- グラデーションオーバーレイを適用
- ベベルとエンボスを適用
- フレア画像をあしらう
- フレア画像の黒を透過させて完成

くわしい作り方

1 「グラデーションで塗りつぶし」を選択



Photoshopで調整レイヤーアイコンをクリックし、「グラデーションで塗りつぶし」を選択します。

2 背景を作成



グラデーションカラー「0%:#030000」「50%:#00153e」「100%:#030000」、角度「90度」、比率「100%」に設定します。

3 文字を入力



文字は、文字の下面を合わせるために「1」と「位獲得」に分けて入力します。入力後、数字の方が大きくなるように文字サイズを調整します。

Memo ここでは、数字のサイズを「360px」、漢字のサイズを「245px」に設定しています。

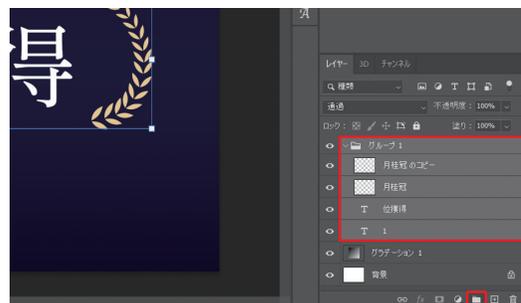
4 月桂冠をあしらう



月桂冠の画像を開き、文字の左右に配置します。

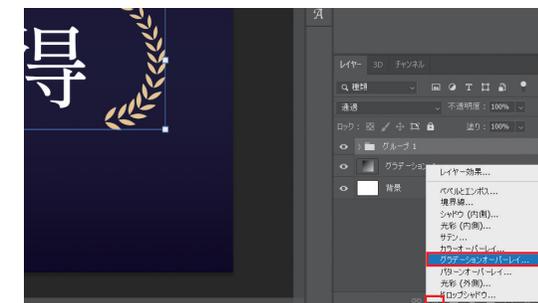
Memo 月桂冠の作り方は、P.160で解説しています。

5 文字と月桂冠のレイヤーをグループ化



文字レイヤーと月桂冠レイヤーを同時に選択し、新規グループを作成アイコンをクリックします。2つのレイヤーがグループ化されます。

6 グラデーションオーバーレイを選択



レイヤーグループを選択した状態でレイヤースタイルを追加アイコンをクリックし、「グラデーションオーバーレイ」を選択します。

32 「グラデーションオーバーレイ」でできる 潤いを感じさせる文字

潤い感のある文字デザインは、美容系のバナーやLPなどで利用されることの多い表現手法です。「しっとり」や「ぷるん」といったひらがなの擬音と相性がよく、かわいさを表現する際に効果的です。



Before



After



Point

文字は水平に入力するのではなく、あえて上下にずらしたり、フォントサイズを変えたりすると魅力的に見え、動きのあるデザインになります。

作り方

1 文字を入力

2 文字のバランスを調整する

3 文字を傾ける

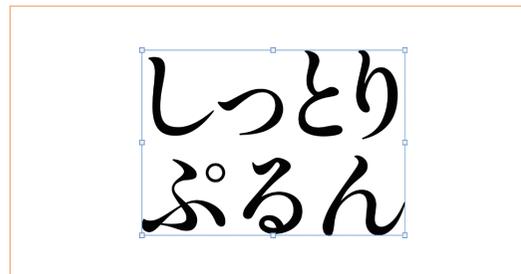
4 グラデーションオーバーレイを適用

5 ベベルとエンボスを適用

6 ドロップシャドウをつけて完成

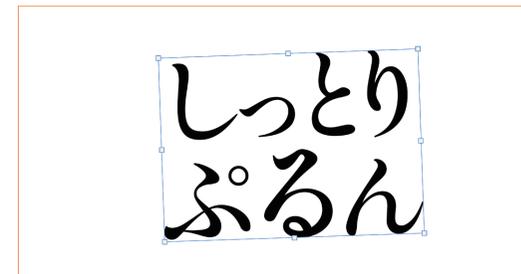
くわしい作り方

1 文字を入力



Photoshopで、「しっとり」「ぷ」「る」「ん」の4つに分けて文字を入力します。それにより、後からサイズやバランスを調整しやすくなります。

2 バランスを調整し文字をグループ化



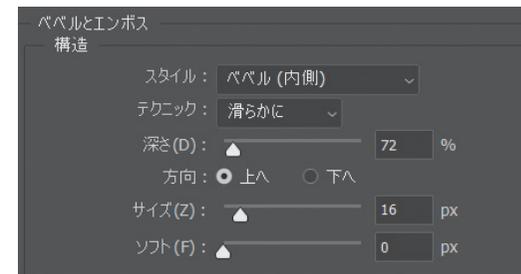
フォントサイズを「しとり:320px」「っ:280px」「ぷ:340px」「る:380px」「ん:310px」に変更し、レイヤーをグループ化して角度を-2度傾けます。

3 グラデーションオーバーレイを適用



レイヤースタイルを追加アイコンをクリックして、「グラデーションオーバーレイ」を選択します。色「0%:#eb5f78、50%:#f7476d、100%:#eb5f78」、角度「90度」、比率「100%」に設定します。

4 ベベルとエンボスを適用 その1



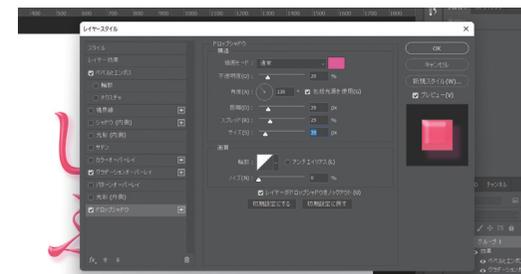
レイヤースタイルを追加アイコンをクリックして「ベベルとエンボス」を選択し、上記画像を参考に「構造」の設定を行います。

5 ベベルとエンボスを適用 その2



引き続き「ベベルとエンボス」で、上記画像を参考に「陰影」の設定を行い、文字に立体感を出していきます。「光沢輪郭」は、「円錐-反転」に設定します。

6 ドロップシャドウを適用させて完成



レイヤースタイルを追加アイコンをクリックし、「ドロップシャドウ」を選択します。色「#ec579c」、不透明度「20%」、角度「130度」、距離「20px」、スプレッド「25%」、サイズ「20px」に設定し、全体の奥行きを出して完成です。

ここで利用したフォント Adobe フォント：しっとり明朝 SemiBold

くわしい作り方

1 文字のレイアウトを整える



Illustratorで文字を入力します。「総額:77pt」「最大:77pt」「10億円:290pt」「還:100pt」「元:100pt」のフォントサイズに分けて入力し、レイアウトを整えます。

3 黒の正方形にグラデーションをつける



黒の正方形を選択し、ツールバーの塗りの部分の下にあるグラデーションマークをクリックします。白黒のグラデーションが適用されます。

5 カラーメニューを表示



選択ツールでグラデーションの正方形を選択し、プロパティタブ内の「Fill」(塗り)の左の正方形をクリックします。

2 長方形を3つ作成



文字にグラデーションをつける準備として、長方形ツールを使って好みのサイズの正方形を3つ作成します。色を「黄土色:#cdad4a」「薄黄色:#f0eaae」「黒:#000000」に設定します。

4 金グラデーションへ変更



グラデーションタブ内の白と黒を、「0%:#cdad4a」「50%:#f0eaae」「100%:#cdad4a」の3色のグラデーションに変更します。

» Memo 色を選択する際は、グラデーションタブ内のスポイトアイコンをクリックし、②で作成した正方形の色を選択すると作業がしやすいです。

6 カラーメニューへグラデーションを追加



現在の色であるグラデーションの正方形をカラーメニューにドラッグし、追加します。②で作成した正方形は不要なので、削除します。

35 ブレンドでできる 飛び出す文字

飛び出す文字デザインは、コピーにインパクトを持たせたいときに効果的な技法の1つです。宝くじの当選金額やセール広告など、訴求する内容に強い魅力があるコピーに活用されることが多いです。



Before



After



Point

コピーのインパクトを出す際は、太いフォントを利用すると視認性が上がり、ユーザーの目にも留まりやすくなります。

作り方



文字を入力しグラデーションをつける



黒の輪郭をつける



文字を複製する



ブレンド機能で文字をつなげる



下をすばませて奥行を出す



下の黒い部分を平らにして完成

37 カラーハーフトーンとグラデーションでできる アメコミ風文字

アメコミ風文字は、印象に残りやすく目に留まりやすいデザインの1つです。割引やポイント還元、決算セールのように、特定の情報を強く伝えたい場合に利用すると効果的です。



Before



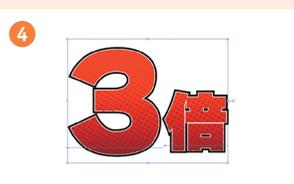
After



Point

文字にグラデーションをつけるだけでもよいのですが、ドット柄を入れると、よりアメコミっぽさを表現できます。

作り方

-  文字を入力しバランスを整える
-  赤のドット柄をつける
-  下地に赤のグラデーションをつける
-  白と黒の輪郭線を2つつける
-  自由変形ツールで斜めにする
-  背景を合成して完成

くわしい作り方

1 文字のバランスを整える



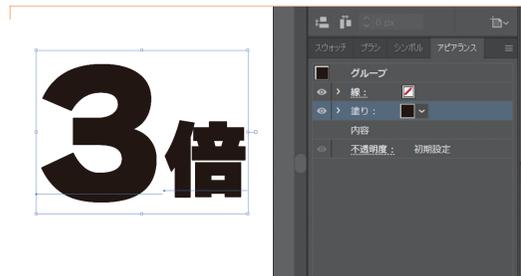
Illustratorで文字を入力します。「3」と「倍」を別々に入力し、フォントサイズを「3：610pt」「倍：310pt」に設定します。

2 文字をグループ化



選択ツールを選択し、2つの文字を選択します。
[Ctrl]/[command] + [G]キーを押し、グループ化します。

3 グループへ塗りを追加



アピアランスタブ左下の新規塗りを追加アイコンをクリックし、グループに塗りを追加します。

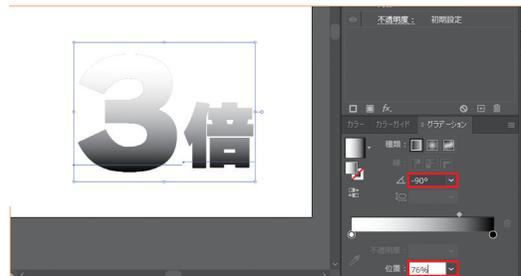
» Memo アピアランスタブがない場合は、「ウィンドウ」→「アピアランス」で表示できます。

4 グラデーションを追加



アピアランスタブの塗りを線の上にドラッグし、順番を入れ替えます。塗りの右側矢印をクリックして、白黒グラデーションを選択します。

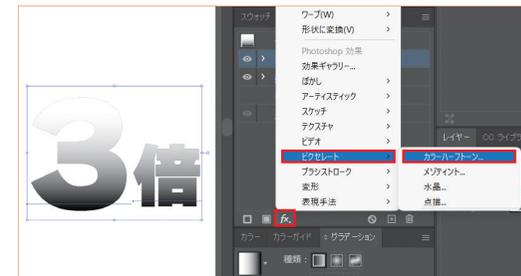
5 グラデーションの向き比率を変える



グラデーションタブで、角度を「-90度」に変更します。それにより、文字の下側に黒が来るようになります。その後、グラデーションの中間部分のつまみを「76%」に変更します。

» Memo グラデーションタブがない場合は、「ウィンドウ」→「グラデーション」で表示できます。

6 カラーハーフトーンを選択



アピアランスタブに戻り、グラデーションの塗りを選択した状態で下部の新規効果を追加アイコンをクリックします。「ピクセレート」→「カラーハーフトーン」の順に選択します。

» Memo ここでは、カラーハーフトーンの機能を使ってグラデーションをドット柄に変更します。

42

ワープとぼかしでできる 水滴のあしらい

水滴のあしらいは美容系のLPやバナーなどで使われることが多く、美容製品の成分や効能をユーザーへ具体的、感覚的に伝えたい場合に効果的な技法です。



Before



After



Point

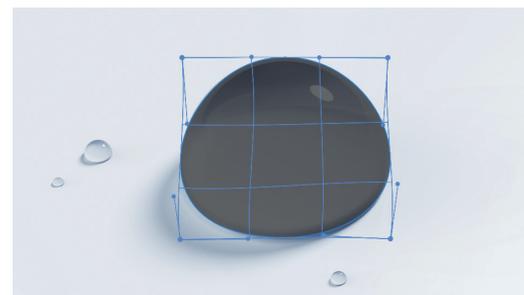
水滴をあしらう場合は水滴だけでなく、水滴の影も一緒にあしらってあげると、よりリアルな水滴を表現できます。

作り方



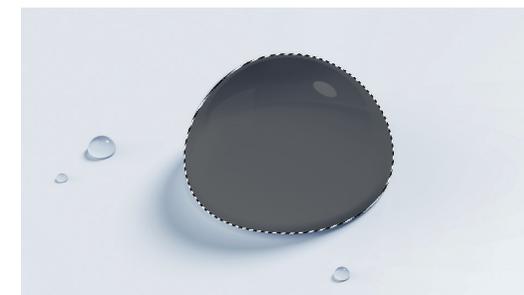
くわしい作り方

1 シェイプを作成



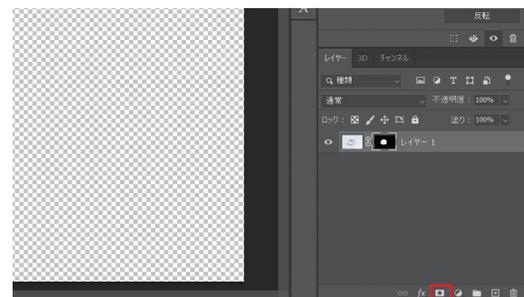
Photoshopで、水滴の画像を開きます。楕円形ツールを選択し、水滴と同じくらいの大きさの正円(色は任意)を作成します。正円の不透明度は、「60%」に設定します。「編集」→「変形」→「ワープ」の順に選択し、水滴の形に合わせて正円を変形させます。

2 選択範囲を作成



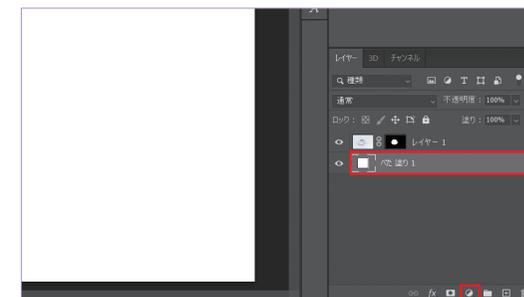
Ctrl / **command** キーを押しながら楕円形レイヤーのサムネイルをクリックし、水滴の選択範囲を作成します。楕円形レイヤーは不要なので、非表示にするか削除します。

3 レイヤーマスクを追加



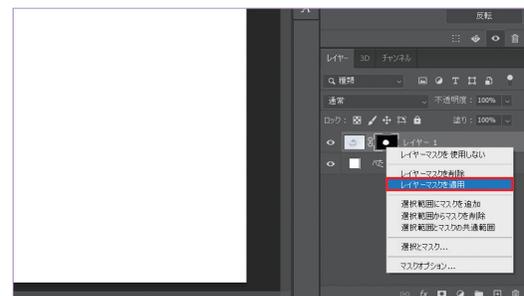
レイヤーマスクを追加アイコンをクリックします。レイヤーマスクによって、水滴画像が切り抜かれます。

4 背景を追加



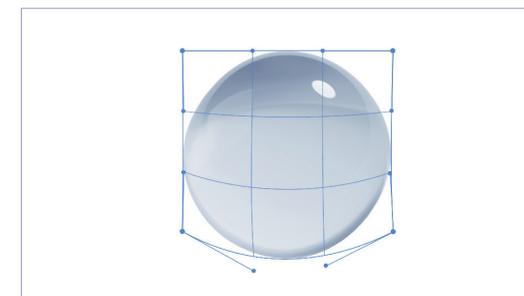
調整レイヤーアイコンをクリックし、「べた塗り」を選択します。色を「白」に設定し、「べた塗り」レイヤーを一番下へ移動します。

5 レイヤーマスクを適用



レイヤーマスクの上で右クリックし、「レイヤーマスクを適用」を選択します。レイヤーマスクを適用することで、ワープを使った水滴の編集がやりやすくなります。

6 水滴の形を整える



「編集」→「変形」→「ワープ」の順に選択します。水滴の形が正円になるように整えます。

49 》メダルのあしらい

グラデーションでできる

業種を問わず、メダルのあしらいは権威性を訴求する際によく使われる技法です。売上実績や受賞経験などがある場合は、メダルのあしらいデザインが効果的です。



Before



After



Point

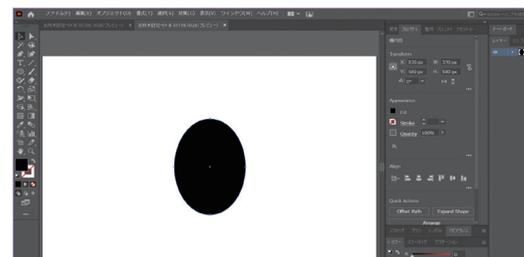
リアルなメダルを表現するには、グラデーションを利用することで立体感が増し、リアルな質感を表現できます。

作り方



くわしい作り方

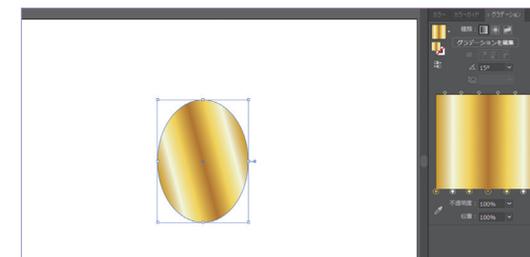
1 楕円を作成



Illustratorで楕円形ツールを選択し、370px×500pxの楕円形を作成します。

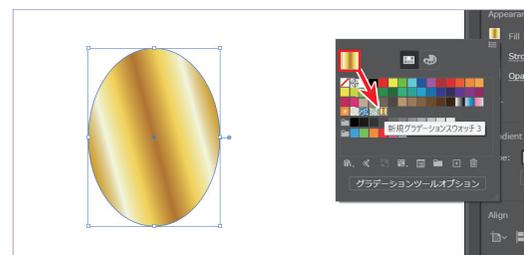
» Memo 色はあとから変更するので、ここでは何色でも問題ありません。

2 楕円にグラデーションを適用



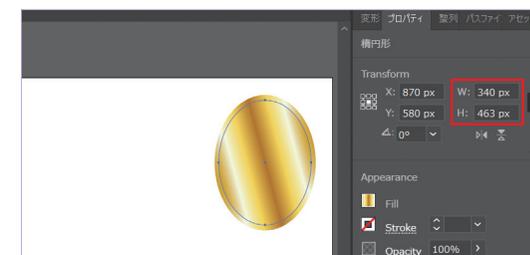
ツールバー下部のカラーパレットから、白黒グラデーションを適用します。グラデーションタブで金グラデーション(0%「#d8a403」、16%「#f8fbe8」、32%「#fee147」、50%「#b8771b」、67%「#fee147」、84%「#f8fbe8」、100%「#d8a403」)を適用し、角度を15度に傾けます。

3 グラデーションを保存



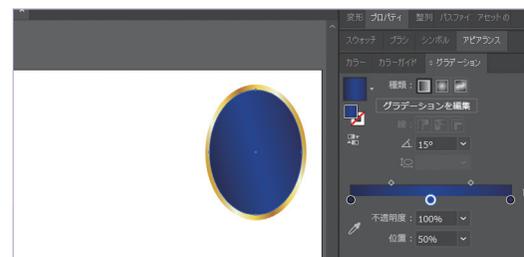
楕円を選択し、プロパティタブの塗りのカラーパレットを開きます。作成したグラデーションをカラーパレット内にドラッグ&ドロップし、再利用しやすいように保存します。

4 楕円オブジェクトを保存



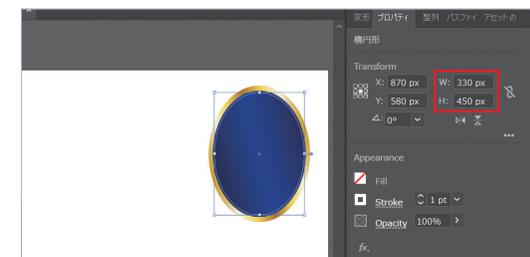
次に、紺の塗り部分を作成します。楕円形オブジェクトを選択し、**Ctrl**/**command**+**C**→**Ctrl**/**command**+**F**キーで同じ位置に複製します。複製したオブジェクトの大きさを、プロパティタブのTransform(変形)で340px×463pxに縮小します。

5 紺グラデーションを適用



複製したオブジェクトを選択し、紺グラデーション(0%「#142b55」、50%「#173c94」、100%「#142b55」)を適用し、角度を15度に傾けます。

6 枠線を作成



内側の枠線を作成します。紺の楕円オブジェクトを**Ctrl**/**command**+**C**→**Ctrl**/**command**+**F**キーで同じ位置に複製し、330px×450pxに縮小します。プロパティタブで塗りを消し、太さ1ptの線を追加します。

50」 オブジェクトの変形でできる 盾のあしらい

盾のあしらいは、セキュリティや満足度など、ユーザーを安心させるための表現として使われることが多いデザイン技法です。個人情報や、高い専門性を扱う商材への利用が効果的です。



Before



After



Point

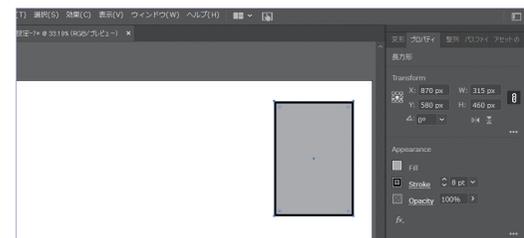
安心感のあるデザインに見せる場合、盾の色は落ち着いた色味にするのがよいでしょう。

作り方



くわしい作り方

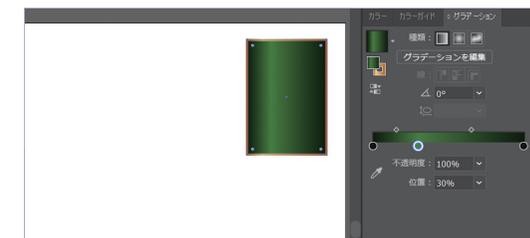
1 長方形を作成



Illustratorで長方形ツールを選択し、315px×460pxの長方形を作り、塗りと線を追加します。

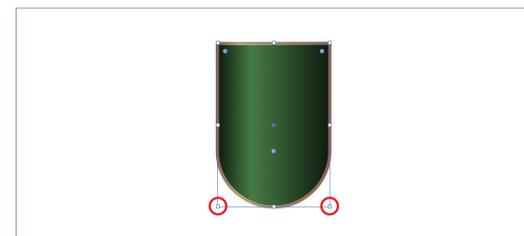
» Memo 塗りと線は後から色を変えるので、何色でもかまいません。

2 グラデーションを適用



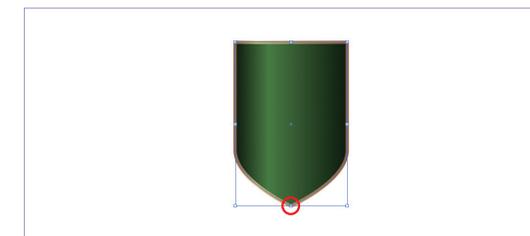
長方形オブジェクトを選択し、グラデーションタブで塗りと線にグラデーションを適用します。塗り(0%「#0e1b11」、20%「#397e3b」、100%「#0e1b11」)、線(0%「#a55109」、30%「#f8d776」、100%「#a55109」)に設定します。

3 下を角丸にする



長方形の左下の隅にある、青い丸をクリックします。続いて **[Shift]** キーを押しながら、右下隅にある青い丸をクリックします。そのまま中心に向けてドラッグし、下の角を丸くします。

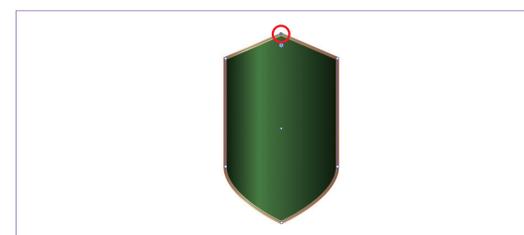
4 下の角を尖らせる



アンカーポイントツールを選択し、下中央のアンカーポイントを2回クリックします。角丸が鋭角に変わります。

» Memo アンカーポイントは2つ重なっているため、2回クリックします。

5 上辺を尖らせる



アンカーポイントの追加ツールを選択し、上辺の中央をクリックしてアンカーポイントを追加します。ダイレクト選択ツールを選択し、**[Shift]** キーを押しながら上辺中央のアンカーポイントを上へ上げ、上辺を尖らせます。

6 上辺の左右を丸めてテキストを重ねれば完成



曲線ツールを選択し、左右の上辺をドラッグして曲線にします。テキストやあしらいを施せば完成です。

ここで利用した画像 > iconoon-mono : <http://bit.ly/3Rd5ire>



51 月桂冠のあしらい

パターンブラシでできる

月桂冠のあしらいは、業種を問わず幅広く利用される、権威性を表すあしらいデザインです。どのようなデザインとも比較的相性がよいため、汎用性の高いデザインといえるでしょう。



Before



After



Point

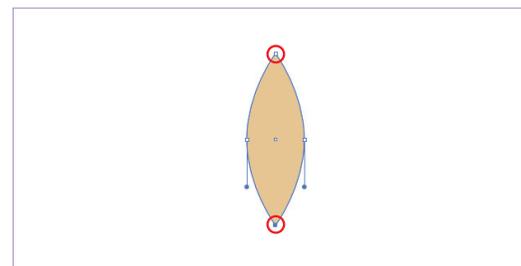
月桂冠に文字を合わせる際は、文字を斜体にするメリハリがついて、全体が引き締まった印象になります。

作り方



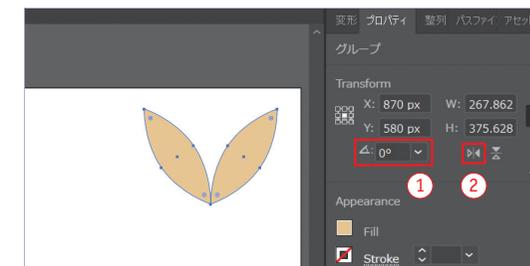
くわしい作り方

1 葉っぱのオブジェクトを作成



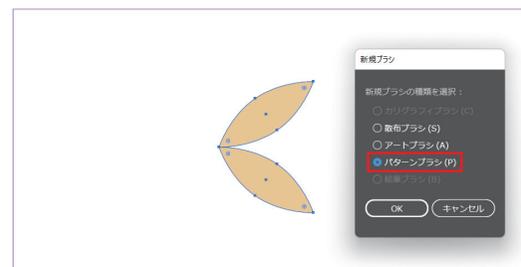
Illustratorで楕円形ツールを選択し、黄土色(#f0d296)の縦長楕円を作成します。アンカーポイントツールで楕円の上下のアンカーポイントをクリックし、葉っぱの形にします。

2 葉っぱを複製し90度傾ける



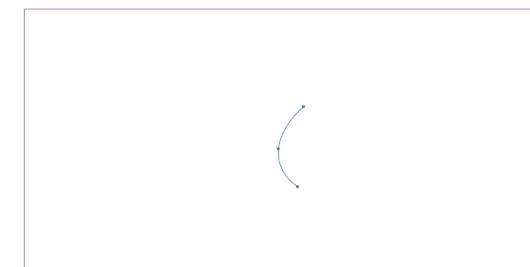
上記画像の①より、角度を35度にして葉っぱを傾けます。[Ctrl]/[command]+[C]→[Ctrl]/[command]+[F]キーで複製し、②の水平方向に反転アイコンで反転→左右対称になるように配置します。2つのオブジェクトをグループ化し、-90度に傾けます。

3 パターンブラシに登録



ブラシタブを開き、②で作成したグループをタブ内にドラッグします。新規ブラシウィンドウが開くので、「パターンブラシ」を選択して「OK」をクリックします。パターンブラシオプションが開くので、名前を「月桂冠」に変更し、「OK」をクリックします。

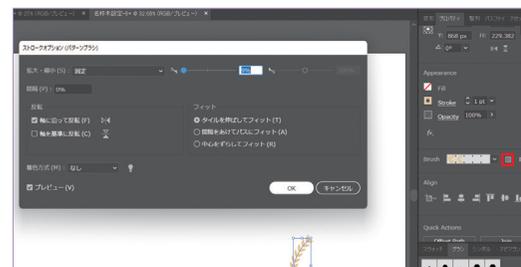
4 月桂冠の輪郭を作成



②で作成したグループを削除し、曲線ツールで月桂冠の輪郭のパスを作成します。

» Memo パスの形を微調整したい場合は、ダイレクト選択ツールを使いましょう。

5 月桂冠を作成



④のパスを選択した状態で、ブラシタブ内の③で作成した月桂冠を選択します。うまく適用されない場合は、プロパティタブでストロークオプションを開き、微調整を行います(今回は拡大・縮小「12%」、反転「軸に沿って反転」に調整しています)。

6 テキストの左右に月桂冠をあしらい完成



テキストを入力し、④で作った月桂冠を複製して左右にあしらえば完成です。

» Memo テキストの斜体は、変形タブ内のシアーの角度を調整します(今回は「10度」)。

56 暖色グラデーションのあしらい

グラデーションでできる

暖色グラデーションは、温かい飲み物や商品の演出に使われることの多い表現技法です。冬服や防寒用品、暖かい食品のデザインへの利用が効果的です。



Before



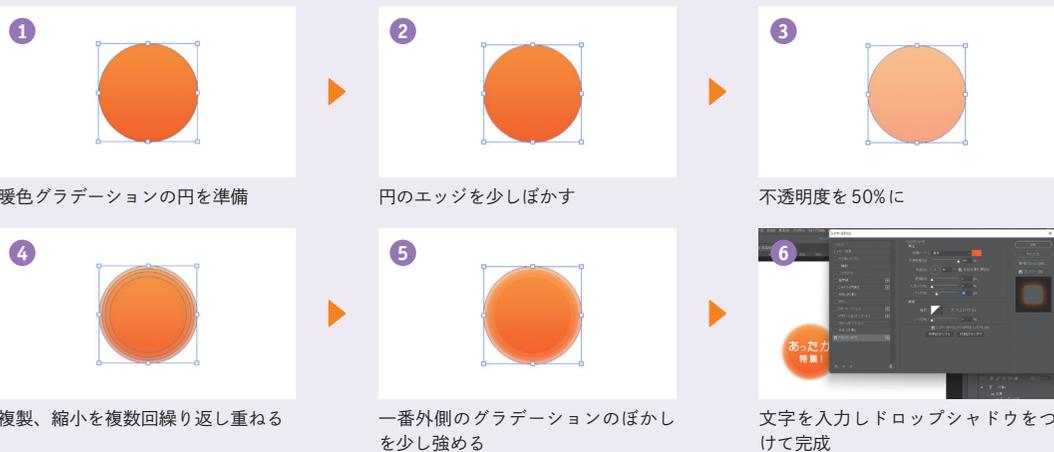
After



Point

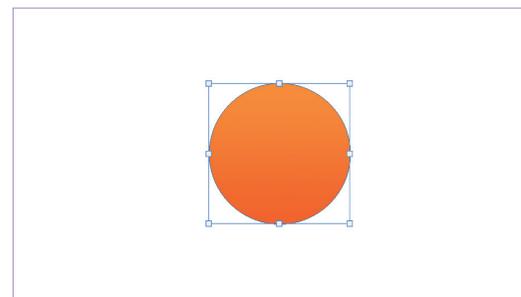
温かさを表現するデザインでは、丸ゴシックのように丸みのあるフォントを選ぶと馴染ませやすくなります。

作り方



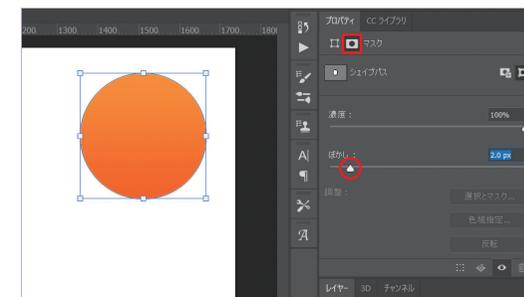
くわしい作り方

1 暖色グラデーションを適用



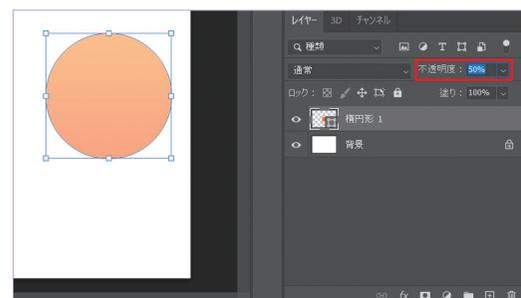
Photoshopで楕円形ツールを選択し、正円を作成します。プロパティタブ内の塗りを選択し、グラデーション(#fe610b、#ff9621)を適用します。

2 円のエッジをぼかす



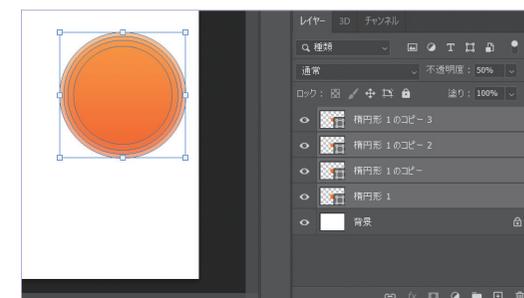
円を選択し、プロパティタブ内のレイヤーマスクアイコンをクリックします。ぼかしを「2px」に設定し、円のエッジをぼかします。

3 円の不透明度を下げる



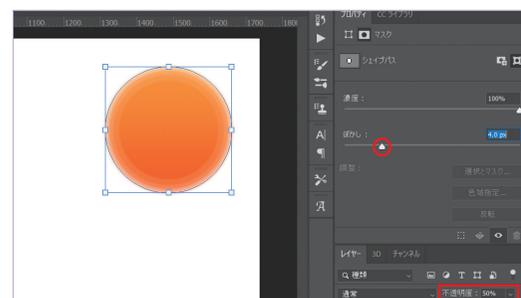
レイヤータブの不透明度を「50%」に設定します。

4 複製と縮小を繰り返す



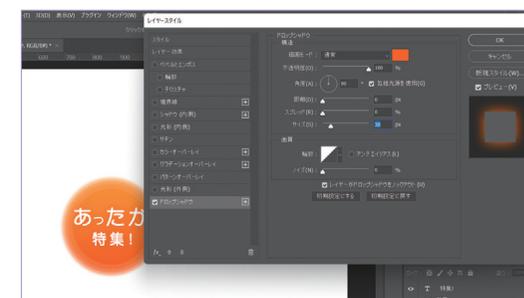
③で不透明度を調整した楕円レイヤーを、**Ctrl**/**command**+**J**キーを押して同じ場所に複製します。複製したら、**Shift**+**Alt**/**option**キーを押しながら中心へ向けてドラッグし、縮小します。この作業を、円が4層になるまで繰り返します。

5 グラデーションの微調整



一番中心にある円レイヤーの不透明度を「100%」に設定します。一番外側の円レイヤーのぼかしを「4px」に設定し、グラデーションにメリハリをつけます。

6 テキストを重ねて完成



テキストを重ね、レイヤースタイルアイコンをクリックして「ドロップシャドウ」を選択します。視認性を上げるため、ドロップシャドウの色はオレンジ(#fe630b)にします。

60 動物のあしらい

オブジェクトの組み合わせでできる

動物のイラストは、ユーザーの目に留まりやすい要素の1つです。ワンポイントの動物をフックにして目的のページへ遷移させることも、広告デザインではよく行われています。



Before



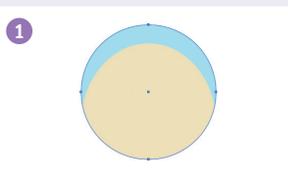
After



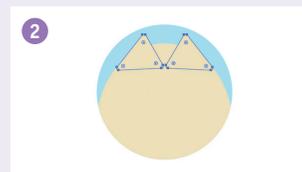
Point

目や鼻などのパーツは近づけ、3頭身を意識して作成すると、かわいいイラストになりやすいです。

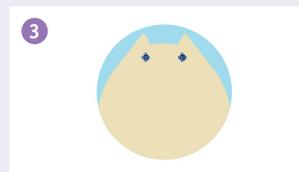
作り方



1 楕円形ツールで円と体を作りマスク



2 多角形ツールで耳を作成



3 楕円形ツールで目を作成



4 楕円形ツールで鼻を、ペンツールで口を作成



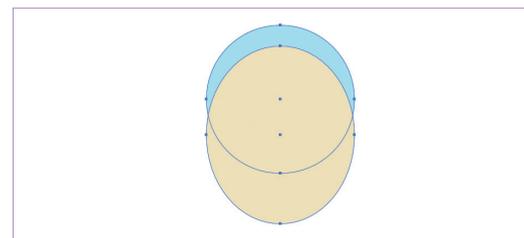
5 楕円形ツールでほほを、ペンツールでひげを作成



6 文字を重ねて完成

くわしい作り方

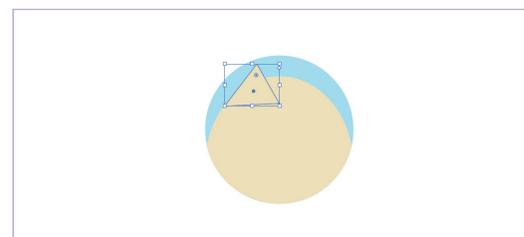
1 枠と体を作成



Illustratorで楕円形ツールを選択し、枠になる青い(#aeeeff)円を作成します。次に、体になる黄土色(#f4e9be)の円を作成します。

≫ Memo 楕円は、先に正円を作成し、後から形を調整すると楽です。

3 耳の形を作成



多角形ツールで、黄土色(#f4e9be)の三角形を作成します。ダイレクト選択ツールを選択し、三角形のオブジェクトが耳の形になるよう、アンカーポイントを移動して調整します。

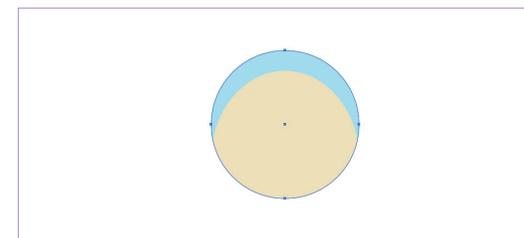
≫ Memo 三角形の左下の角が体のラインと重なるようにするのがポイントです。

5 目を作成



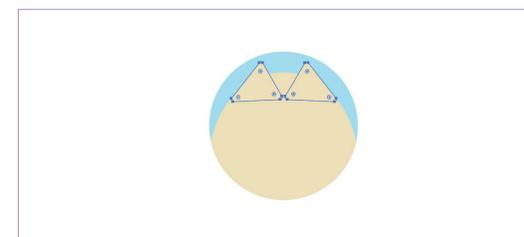
楕円形ツールを選択し、焦げ茶(#221d1b)の正円を作成します。複製して左右に配置し、目を作成します。目を作成できたら、**Ctrl**/**command**+**G**キーでグループ化します。

2 体をマスクで枠に収める



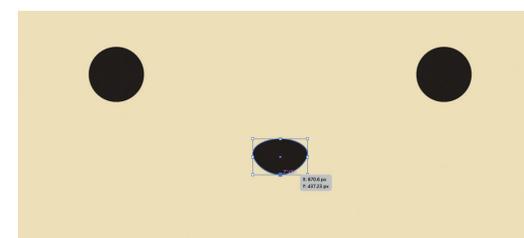
青い円オブジェクトを、**Ctrl**/**command**+**C**→**Ctrl**/**command**+**F**キーで同じ場所に複製します。複製した青い円オブジェクトの重なり順を最前面へ移動し、複製した青い円オブジェクトと黄土色の円オブジェクトを同時に選択します。オブジェクトの上で右クリックし、「クリッピングマスクを作成」を選択し、マスクで体を枠に収めます。

4 耳を作成



選択ツールを選択し、③で作成した三角形を選択します。選択すると表示される三隅の青い丸をドラッグし、角丸三角形を作成します。その後、三角形を複製し、右側にも配置して耳を作成します。耳を作成できたら、**Ctrl**/**command**+**G**キーでグループ化します。

6 鼻を作成



楕円形ツールで、横長の焦げ茶(#221d1b)の楕円を作成します。ダイレクト選択ツールで下中央のアンカーポイントを下に少し下げ、鼻を作成します。